



千曲川所見

枝歌

一
御國の爲にますらをが、
蠶絲の道を究めつゝ、

富の基を開かむこ、
つくす誠のあこ見よや。

二
夜を日につける勞働に、
身にしむ汗は世をすくふ、

神の恵ぞやさるなる、
深き同情の涙にて。

三
都の花は見すもあれ、
千曲の川に光る月の、

吾等は徳を一にして、
清きその名を歌はれむ。

四
御國の爲にますらをが、
蠶絲の道を究めつゝ、

富の基を開かむこ、
つくす誠のあこ見よや。